

マナーを守ればみんなにやさか

四年一組 島添 恵衣

NO.1

私は、小ざんこころよく電車の席に座っていました。近くにお年よりがいても座っていました。でも、近くにいた人が席を立ってお年よりに席をゆずっていたとき、私はそれを見て心の広い人だと思いました。その時、良い事をしたら、良い事をしてもらった人もした人も周りにいる人全員が良い気持ちになると

NO.2

いう事が分かりました。

それから私は、席をゆずろうと思いました。でもそれは、とてもむづかしい事でした。

見ているとが簡単に見えると思ってもやるのはむづかしい事でした。心の中では、

「席をゆずらなければいけない。」と思っていても「き」とだれかがやってくれるがその気持ちのほうが大きかたと思います。

私は、「私がつらい時席をゆずってくれたらどんな気持ちだろう。そんな質問がうかん

できました。小さくゆずってもらった人の顔は、どんな顔だったのが。その答えは、座った後も、にやかな顔でした。

席をゆずってもらった人は、心が良い気持ちになるだけではなく、心も体も全部が良く気持ちでほがほがしているような感じだと思いました。それなら私も、人をほがほがな感じにさせたいと思いました。それから席がゆずれるようになりまし。私は、席をゆずるのに努力して出来るようにな。たので、これが

う先「何も考えずにこま」ている人がいたら助ける。それをあたりまえに出来るようになりたいと思いました。

「マナーは礼儀し

だと、私は思います。

マナーは、「みんなが幸せに暮らすためのふるまい」だと思います。

礼儀は、「人に対する敬意」だと思います。

マナーと礼儀が同じだと言う理由は、どちらも「人に対する自分の親切な気持ちだ」と

思うからです。

例えば、東日本大震災で日本中に元気が無くな^なった時、たくさんの人たちが東北に親切で思いやりのある手をさしのべたと思います。

そのおかげで、東北はだんだん元気になっ^なていき、少しずつでも幸せにな^なっていったと感じます。

一人の人が親切な事をしてあげれば、幸せな気持ち^{きもち}が周りの人に伝^{つた}わって、その人も親切になると思います。一人の人の親切が、世

界の人の幸せになると思います。

だから私が親切にする人の一番目になれ^なるようにがんばりたいです。

No.5

No.6